

年 組 名前

2021年12月16日付夕刊



京大チームが確認

チンパンジーは死骸から放れる特有の臭いを人と同様に避けることが分かったと、京都大の平田聡教授（霊長類学）らのチームが海外科学誌に発表した。死骸は外敵が近くにいる可能性を示すほか、病気の感染源になりうることから本能的に死臭を避けているとみられる。人以外の霊長類が死臭を感じ

「A」に敏感 チンパンジー

B や C 避ける本能か

ることができるとかどうかわく分かっていなかった。動物が「死」にどう対応しているか研究する分野の進展に貢献する成果という。

チームは京大野生動物研究センターの施設（熊本県）で飼育している六匹のチンパンジーで実験。死臭のもととなる化学物質「プトレシン」のほか、無臭の水と、プトレシンと同じくらい臭いが強いアンモニアをそれぞれ含ませた脱脂綿を飼育室に置いたバケツの中に入れ、チンパンジーがバケツの一杯以内にいた時間を比較した。

プトレシンの場合、時間は水とアンモニアに比べて半分以下だった。アンモニアと水では大きな差はなく、研究チームはチンパンジーが死臭を避けたと判断した。

一方、これまでの研究では野生のチンパンジーの母親が死んだ子どもを毛繕いしたり、ミイラになるまで背中に乗せたりするケースも観察されている。平田教授は「**D**」のではないかと分析している。

京大野生動物研究センターの熊本
サンクチュアリで行われた実験に参
加したチンパンジー＝京大提供

問1： A・B・Cに当てはまる言葉を、本文中から漢字2字でそれぞれ抜き出し、書きましょう。

A () B () C ()

問2： D に当てはまる最も適当な言葉を、次から一つ選びましょう。

- ア どんなときも死臭を避け続ける
- イ 愛情の強すぎるのが時々ある
- ウ 野生のチンパンジーの父親はとても愛情深い
- エ 臭いがあっても愛情のために離れられない